

中国二年	登場人物の言動の意味を考え、 内容の理解に役立てよう。
補充	(解答・解説)
番	組

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

吾輩は人間と同居して彼等を観察すればするほど、彼等はわがままなものだと断言せざるを得ないようになった。自分の勝手に人を逆さにしたり、頭へ袋をかぶせたり、ほうり出したり、かまどの中へ押し込んだりする。しかも吾輩の方で、少しでも手出しをしようものなら家族総掛かりで追い回す。吾輩の尊敬する筋向かいの白君などは逢う度毎に人間ほど不人情なものはないと言っておられる。白君には先日玉のような子猫が四匹産まれたのである。ところがその家の書生が三日目にそいつを裏の池へ持って行って四匹すべて捨てて来たそうだと。白君は涙を流してその一部始終を話した上、どうしても我等猫族が親子の愛をまっとうして美しい家族的生活をするには人間と戦ってこれを減ぼさねばならぬといわれた。また隣の三毛君などは人間が所有者という事を解していないといって大いに腹を立てている。元来我々同族間ではめざしの頭でもぼらのへそでも一番先に見付けたものがこれを食う権利があるものとなっている。もし相手がこの規約を守らなければ腕力に訴えてよいくらいのものだ。それなのに彼等人間はちっともこの観念がないと見えて我等が見付けたご馳走は必ず彼等によって奪われるのである。白君は軍人の家におり三毛君は弁護士的主人を持っている。吾輩は教師の家に住んでいるだけ、こんな事に関する両君よりもむしろ楽天主である。ただその日その日がかうにか送られればよい。いくら人間だって、そういつまでも栄える事もあるまい。まあ気を永く猫の時代を待つがよからう。

注1 白猫。注2 三毛猫。注3 自分の生活に不満をもたずにいること。  
「吾輩は猫である」より。一部加筆・省略等がある。

吾輩、白君、三毛君の三匹の猫が、人間から自分勝手な行為を受けたということが書かれています。混同しないように整理をしましょう。また「人間にされたこと」を書くので、文末は受け身の形にして簡潔に書きましょう。

吾輩  
(例) 逆さにされたり、袋をかぶせられたりされ手出しをしたら、家族総出で追い回された。

白君  
(例) 生まれたばかりの子猫を四匹すべて、裏の池に持って行かれて捨てられた。

三毛猫  
(例) めざしの頭やぼらのへそなど、見付けたご馳走を取られた。

物語文を読むときは、時・場所・人物等の「設定」を正しく捉えることが大切です。また、登場人物の言動や心情の変化に注目して読むことで、物語の展開がつかみやすくなります。

問二 吾輩は、人間をどのようなものだと考えていますか。それについて述べた次のア～ウについて、適当なものには○を、適当でないものには×を書き入れなさい。

ア 人間を自分勝手な生き物だと考えている  
イ 人間を減ぼさなければならぬと考えている  
ウ 人間は食いしん坊だと考えている

問三 吾輩の考えは、最初の一文に「人間」についてが、また最後の二文に「人間との付き合い方」についてが表れています。最後の二文をまとめて書きましょう。

る	暮	よ	ど
	ら	い	う
40	し	の	に
	て	で	か
	い		毎
	こ	人	日
	う	間	を
	と	と	送
	思	は	ら
	っ	気	れ
	て	長	れ
	い	に	ば